

Title: 「前田さんのカルテ」



前田 明日香
友達が女の子のママになりました。もうひとりの友達(車を買いました。私は半年の間、写真を撮りに行きます。ありがとうございます。

● 最近のエントリー

- ☞ [ベタリンジャヤより](#)
(2006.05.27)
- ☞ [ペナン2](#)
(2006.05.15)
- ☞ [ペナンより](#)
(2006.05.12)
- ☞ [バンコク3](#)
(2006.05.09)

● アーカイブ

- ☞ [2007年10月](#)
- ☞ [2007年07月](#)
- ☞ [2007年04月](#)
- ☞ [2007年03月](#)
- ☞ [2007年01月](#)
- ☞ [2006年12月](#)
- ☞ [2006年11月](#)
- ☞ [2006年10月](#)
- ☞ [2006年09月](#)
- ☞ [2006年08月](#)
- ☞ [2006年07月](#)
- ☞ [2006年06月](#)
- ☞ [2006年05月](#)
- ☞ [2006年04月](#)
- ☞ [2006年03月](#)

● ブックマーク



OLYMPUS 3.0

前田さんのカルテ > 2006年05月 アーカイブ

06.05.27

ベタリンジャヤより

ありがたい快適空間スクーリング施設にいます。いろんなところにひとが考えてくれたあとがあります。毎日のように縮表とどしどしふりが来ます。27日の中間審査のためにみんな写真を準備しました。みんなより少ないけど、ぎっとひとりだったら辞めていられるくらい涼の浴槽と温度調整と現像とプリントとをひたすらやりました。みんながつくってくれた夜ごはんを、何度もごちそうになって溜まりました。それはでも、限界とは違うと聞き、納得します。私の写真は私の性格とおんなじだと聞き、動揺します。ふわふわふわしている。実際それをやること自体が好きなのではなくそれをやる自分を好きなのかもしれないと聞き、混乱します。ひとに悪くされているという意見にも、異論はほとんどありません。たとえばそれを避ければ、戸惑うことも不安になることも無くなるかもしれないのに。どうしてやるのかと聞かれたら、はっきりと答えることはできない自信があります。でも好きなので、ちゃんとやりたいので、逃げたくないと。そしてみんながそれでもやっぱり嫌だと聞き、みんなも私もがんばってほしいと思う。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.05.27 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

前田さんのカルテ > 2006年05月 アーカイブ

06.05.15

ペナン2

ペナンで生まれたし、ペナンで勉強したし、ペナンで結婚したし(今はシングルだけど)、ペナンで働いたし、ペナンで暮らしている、ペナンが私の場所。



だそうです。しみじみ言い切っていました。

カテゴリ:

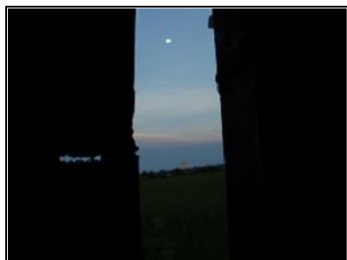
post by 前田 明日香 | 日時: 2006.05.15 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

前田さんのカルテ > 2006年05月 アーカイブ

06.05.12

ペナンより

タイ・バンコクから、マレーシア・バタワーズへ、寝台列車の旅をみんなとしました。閉鎖的な空間にひとり、終始ちょっと心細かったベトナムの寝台列車とちがってまわりにみんなもいるし、調子に乗って本を読んだら少し酔いました。



国境を越えて、日本との時差は1時間縮まりました。

国境を越えるので、時差が変化するのも、新鮮でなくなってきたようなもともと夜は眠って朝目を覚ますという生活ではなかったし、どこでも生きていられるのかなとも思いました。

ホテルの窓から
静かにうすい青とみどりに広がる海が見えるのが今までになかったことです。



ごはんのあとみんなと海に出ました。
雨あがりでした。
空に大きく縦にかかった虹もありました。
自分のなんとなくここここにあらざる感じも石垣島以来少しひさしぶりです。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.05.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

前田さんのカルテ > 2006年05月 アーカイブ

06.05.09

バンコク 3

毎日、
外に出ると
目に入ってくるのと皮膚に感じるひりひりするみたいなのと
両方の光は
灼熱のひとつです。
連れて行ってもらっていた地区に何度か行きましたが、
自分が引いているのがわかり
気分転換にウィークエンドマーケットにひとりで行ったりしました。
その地区にある財団の方に案内してもらった機会があったから、
ひとりで小さい路地も通りました。
いろんなところでちらちらとした目線に気づきます。
ひとりで暮らしていて
今日20パーセント持っていないという英語を話すことができるおばさんに会いました。
名前を書いてほしいとノートを出したら、
書くことができないからあなたが書いてと言いました。
あんた今ひとり？と何度も確かめ、
私あんたの心配、バンコクでは殺されることもあると首をゆひで横になぞりながら言いました。
小さい通りですがそのまんなかを
手をつないで歩いてくれてちょっとだけはずかしかった。
今日、約束の夕方4時に、
とても小さいから、という彼女のうちに連れて行ってもらいました。
おそらくいっしょにベンチにすわっていたひとたちのだろうと思われるおうちに寄せかけるようにして板ばりの部屋があり、
ここで彼女は足を伸ばして眠ることができるのだらうかと思いました。
壁板のいくつかの穴から光が射し込み、
自分の勝手な想像より、ずっとずっとこじんまりとしていました。
でも、ここで私は暮らしていると思わせてくれた。
写真も撮らせてもらいましたが、
手がふるえたり、暗くて見えなかったり、
レックさんのうちのあたりでは通路も何もかも狭くて至近距離すぎ、
ほかのところでは
ビニール袋に入れてくれたコーラと
レックさんがときどきぶんぶん振るつないだ手が気に入り、
あまりでした。
その地区には、てっぺんに有刺鉄線が3列くらい張ってある高いブロック塀に囲まれた区域があり、
ひとりで歩いていくときにはなんとなく入れませんでした。
彼女が、連れて行ってくれました。
そのなかでもひとりが暮らしていました。
表情がやわらかくて、きらきらしたひとともいました。
だるそうような、どこを見ているのかわからないようなひとともいました。
前に案内してもらったとき、ドラッグで3人のひとが死んだと言っていました。
こわいことが起こるとしたら、それがからんだときだとしか思えなかった。
お礼に夕ごはんをいっしょに食べました。
彼女にはおへその下に縦に入った大きな傷と
アクシデントで負ったという右ひざのふくらみがありますが、
200パーセントあれば明日朝9時にドクターにかかるといっていました。
私にどうしてほしいのだからと考えると答えは出ず、
彼女にも聞くことができませんでした。
強くないね、と何回も眠っていたので、
あげますねと言った日本で買ったたばこの箱のなかに
2枚入れました。
ありがとう、と彼女は言いました。
すぐくそわそわしたのは
ほんとにこれで病院に行くのだからとか、
お金のために私と手をつないだのだからとか
そういう気持ちが自分の中に出てきたからだと思えます。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.05.09 | [パーマリンク](#) | [コメント \(5\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

前田さんのカルテ > 2006年05月 アーカイブ

06.05.03

バンコク 2

バンコクは都会だと聞いていました。
確かにカンボジアから入ったミニバスの中で
気づいたらビルがいくつもそびえ立っていました。
でも降り立つとほとんどの道りは高速道路やBTSの高架下です。
地図を見たらガイドをしているというおじさんに会い、
コーラを飲みながら、
おじさんは、もしそこにあなたがいたら、
あなたは、そこに暮らす彼らを助けることができるかと
私に言いました。
私は、BTSという立場にあるかわからず、

私も、おかげさまでこの立場にいるのだから、
でも写真を撮りたいと思うと答えました。
雑誌や新聞に載せれば、みんなに知らせることができると言います。
私は1生徒だし、それは今はまだゆめだと言うと、
そうか、でもそれだけじゃない、
そのideaが、必要だと言いました。
次の日Khlong toei という地区に連れて行ってもらいました。



次の日も別の地区に行きました。
実際に歩いてみたとき、自分が勝手に描いていたイメージと違うと思いました。
せまい通路を、犬が吠えるから気をつけて、といてくれる、
むしろぼっとするような静かでゆっくりした雰囲気がながれています。



たとえば日本のように、経済的に豊かなことは、
そういう事実ではあるけれど、
それが優れたことだということではできないのかわかりません。
思い出したことは
以前、
体に不自由なところがあるひとたちにかかわる機会があったことです。
あるひとが、
必死に伝えようとしてくれていることが、私に伝わったとき、
彼女が、伝わってよかったと思っているということが、
彼女のからだ全体に表れていました。
いつも何気なくやっているそのことを、
こんなに喜ぶことができるということ、
ほんとうにすてきだと思いました。
それを忘れてしまっている自分に気がついたというだけかも
知れませんが。

category:
post by 前田 明日香 | 日時: 2006.05.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

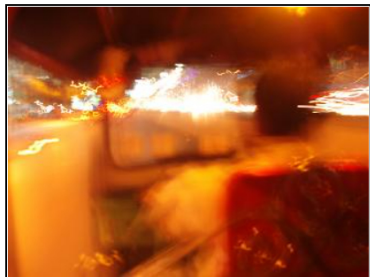
[前田さんのカルテ > 2006年05月アーカイブ](#)

バンコクより

でこぼこ道をバスでシェムリアップからポイベトに向かいました。



先生はそんな中パソコンに向かいお仕事をしています。
次の日には講義された道を、水曜日電話連絡班のみんなと先生とミニバスに乗り、
バンコクに着きました。
みんなで、羽立さんのとってくれたところでごはんを食べることができました。
よかった。
わりとのどかだったカンボジアのそれと比べて、
いのちの危険がなければ私は好きですが、
バンコクのトゥクトゥクは暴走気味でちょっとだけ怖かったです。



でも、ホテルでは同室のすみちゃんが、
彼女が大好きなるうそくを打ってくれました。
ここがバンコクのチャイナタウンのまんなかだということも忘れそうなくらいでした。





すみちゃんいつもありがとう。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.05.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)